

活動報告（1月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所企画経営課

表題：普及指導員等による調査研究の所内報告会を行いました

期日：令和2年1月29日（水）

場所：県浜松総合庁舎 会議室（浜松市中区）

県西部農林事務所は、1月29日(水)、県浜松総合庁舎会議室で普及指導員等による調査研究の所内報告会を行いました。

静岡県の普及指導員等は、県の農業施策の推進に必要なテーマの中から、重要度・緊急度等を考慮して、毎年度1人1課題を設定し、調査研究を行っています。29日の所内報告会では、西部農林事務所の普及指導員等25人が、年度当初に設定した各自の課題について、今年度の研究成果を発表しました。

<課題例>

「乾熱滅菌処理ホオズキ種子の発芽促進条件の調査」

「新規就農者の就農後の課題整理」

「繁殖和牛への乳熟期に刈り取りしたWCSの給与量の検討」など

それぞれの発表に対して、他の普及指導員等から活発に質問や意見などが出され、議論が交わされ、西部農林事務所全体の普及活動のレベルアップにつながる有意義な報告会となりました。

出席者全員による投票の結果、今年度の最優秀発表は、武藤貴大主任の「統合環境制御に対応したバラの養液管理技術の検討」に決定しました。

これらの調査研究の成果は、管内の関係機関や農業者の皆さまに積極的に情報提供するとともに、今後の普及活動に活用していきます。



調査研究所内報告会の様子